

- 問1 畜産物産出額の内訳において、豚が約37%、鶏が約34%、乳用牛が約24%を占める都道府県があります。この県において、肉用牛よりも豚や鶏の産出額が高い主な要因として、地理的条件から考察した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 山地が多く放牧に適さないため、狭い土地でも効率よく飼育できる豚や鶏が選ばれている。 | 2. 広大な平野を活用し、大量の飼料作物を栽培することで、大型の牛を中心とした経営を行っている。 | 3. 東京都などの巨大な消費地に隣接しており、需要の多い豚肉や鶏肉、新鮮さが求められる鶏卵などの生産に力を入れている。 | 4. 伝統的に牛肉を食べる習慣がなかったため、古くから養豚や養鶏のみが特化して発達した。 |
|--|--|---|--|
- 問2 中国地方の略地図において、山陰地方の海岸沿い、現在の島根県にあたる位置に記される歴史的な鉱山があります。戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出し、2007年に世界文化遺産に登録されたこの場所の名称を選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 佐渡金山 | 2. 石見銀山 | 3. 別子銅山 | 4. 足尾銅山 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 日本の工業に関する統計において、熊本県や大分県、長崎県といった九州地方や、岩手県を中心とする東北地方、さらには茨城県などの関東地方で、製造品出荷額に占める割合が高いことが特徴である品目はどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------------|--------|-------|
| 1. 繊維製品 | 2. 集積回路 (IC) | 3. 自動車 | 4. 鉄鋼 |
|---------|--------------|--------|-------|
- 問4 日本の地方空港における国際交流の状況について説明した次の文章のうち、適切なものはどれですか。鹿児島空港では香港からの入国者が4割を超え、熊本空港では韓国からの入国者が約6割を占めるなど、全国平均と比較して特定のアジアの国や地域から入国した人の割合が大きいという特徴があります。このような状況が生まれている主な理由を選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 東南アジア諸国との貿易を目的とした貨物専用の定期便が、旅客便よりも優先して就航しているため。 | 2. 地理的に近いアジアの主要都市と国際線で結ばれたことにより、近隣諸国からの観光客が訪れやすくなっているため。 | 3. 欧米の主要都市との間に多くの直行便が就航しており、ビジネス目的の入国者が急増しているため。 | 4. 格安航空会社 (LCC) の普及により、国内の主要都市からのみ定期便が運行されるようになったため。 |
|---|--|--|--|
- 問5 1970年と2010年の日本の人口構成を比較すると、15歳から64歳の「生産年齢人口」の割合が低下し、65歳以上の「老年人口」の割合が急速に高まっています。この人口構成の変化が社会保障制度に与える影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 労働力不足を補うため、義務教育を終えていない年少人口の就労を奨励する制度が導入される。 | 2. 現役世代が保険料などで高齢者を支える仕組みにおいて、一人あたりの負担が重くなる。 | 3. 老年人口の増加により国内の消費活動が活発化し、社会保障費をすべて消費税で賄えるようになる。 | 4. 年少人口が減少するため、浮いた教育予算によって年金支給額を大幅に増やすことができる。 |
|--|---|--|---|
- 問6 1955年から2020年にかけての日本の産業別就業人口の推移をみると、農業・林業・漁業などの第一次産業が急激に減少した一方で、サービス業や商業などの第三次産業は大幅に増加しました。このように、経済の発展に伴って就業人口の中心が移行していく現象を何といいますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 経済のグローバル化 | 2. 情報化社会の進展 | 3. 少子高齢化の加速 | 4. 産業構造の変化 |
|--------------|-------------|-------------|------------|
- 問7 少子高齢化が進み、人口ピラミッドにおいて生産年齢人口 (15歳から64歳) の割合が減少していく日本の社会において、今後懸念される社会保障制度の課題として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 高齢者の割合が低下するため、介護サービスの需要が減り、関連する国家予算が余る。 | 2. 労働力人口が過剰になることで、都市部における若者の失業率が深刻な社会問題となる。 | 3. 若年層の人口が急増するため、義務教育の施設整備にかかる公的支出が大幅に増加する。 | 4. 現役世代の減少により、年金や医療などの費用を支える一人あたりの負担が重くなる。 |
|--|---|---|--|
- 問8 ある3つの県の農業の特徴を比較したとき、「米の収穫量が多い県」、「豚の飼育頭数が際立って多い県」、「一農家あたりの耕地面積が極めて広い道」の組み合わせとして正しいものはどれか、次の中から選びなさい。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 米：北海道、豚：茨城県、面積：鹿児島県 | 2. 米：茨城県、豚：北海道、面積：鹿児島県 | 3. 米：茨城県、豚：鹿児島県、面積：北海道 | 4. 米：鹿児島県、豚：北海道、面積：茨城県 |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
- 問9 千葉県、長崎県、愛媛県、鹿児島県の4県における農業統計の傾向を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鹿児島県は、びわの収穫量が全国1位であり、近隣の県への出荷が盛んである。 | 2. 長崎県は、みかんの収穫量において全国1位であり、果実が農業産出額の大部分を占める。 | 3. 千葉県は、農業産出額の内訳において野菜が約41%と最も高い割合を占めている。 | 4. 愛媛県は、さつまいもの収穫量において鹿児島県を抑えて全国1位となっている。 |
|---|--|---|--|
- 問10 1980年代から2000年にかけての日本における工業構成の変化について述べます。製造品出荷額の構成において、1980年には31.8パーセントであったものが、2000年には45.8パーセントまで上昇し、日本の重化学工業の中心となった工業部門はどれですか。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 機械工業 | 2. 金属工業 | 3. 繊維工業 | 4. 食料品工業 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問11 岩手県 (約59パーセント) や鹿児島県 (約65パーセント) の農業産出額において、共通して過半数を占めている品目として正しいものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 1. 畜産 | 2. 米 | 3. 果実 | 4. 野菜 |
|-------|------|-------|-------|
- 問12 日本の都道府県別の就業者割合を見ると、地域ごとに産業構造の特色が表れています。たとえば、愛知県は全国平均と比べて第2次産業の割合が高いことで知られていますが、一方で東京都や沖縄県は第3次産業の割合が極めて高いという特徴があります。沖縄県において第3次産業の割合が特に高い理由として、適切なものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 豊かな自然環境や歴史的背景を活かした観光業が地域の主要な産業となっており、宿泊・飲食業などのサービス業に従事する人が多いため。 | 2. アジア諸国に近い地理的条件を活かし、大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが集中する日本最大級の重化学工業地帯が形成されているため。 | 3. シリコンロードと呼ばれる電子部品の生産拠点が集中しており、精密機械の組み立てを専門とする労働者が県内の就業者の大半を占めているため。 | 4. 広大な平野を利用した大規模な機械化農業が発達しており、農作物の加工や流通を担う第2次産業と第3次産業が密接に連携しているため。 |
|--|--|---|--|